

スズキ、コンゴ民主共和国の国立職業訓練機構に 自動車整備士養成用機材を寄贈



スズキ株式会社（以下、スズキ）は、コンゴ民主共和国の国立職業訓練機構（以下、INPP）に自動車整備士養成用の機材を寄贈しました。

スズキは、独立行政法人国際協力機構（JICA）が 2011 年より実施している INPP との技術協力プロジェクトを支援するため、INPP での自動車整備士養成に必要な機材の寄贈を決定しました。

今回、寄贈した機材は、ジムニーの中古車、エンジン、スペアパーツや特殊工具など、総数 590 点にのぼります。

4 月 18 日にコンゴ民主共和国の首都キンシャサにある INPP 本部において、クロウディン・ンドゥシ・ムケンベ雇用・労働・社会保障大臣、在コンゴ民主共和国日本国大使館 前川秀信参事官、ジャン＝マリー・ルクラシ・マサンバ INPP 取締役会長の臨席の下、寄贈記念式典が開催され、寄贈品目録と寄贈車両のレプリカキーが贈呈されました。

●鈴木社長のコメント

「コンゴ民主共和国の経済成長により自動車の普及が進み、自動車整備士によるアフターサービスへの需要も伸びることで、INPP による自動車整備士養成の重要性が増していくことを確信しております。自動車が常に良好な状態で走行し、モビリティと交通安全の改善を通じて、コンゴ民主共和国の皆様がより快適で安心な生活を送られることを願っています。」

以上